

2021年11月29日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイテックコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 津村尚史
(コード番号：3446 東証第一部)
問合せ先 取締役 管理部長 平井靖人
(TEL. 072-655-2785)

中国北京市大型放射光施設 HEPS からの 当社“Osaka Mirror”大型受注のお知らせ

当社は、中国北京市の中国科学院高能物理研究所 (Institute of High Energy Physics Chinese Academy of Science : IHEP) の管理の下、2025年の竣工に向け世界トップクラスの高輝度を目指して建設が進む大型放射光施設 HEPS (High Energy Photon Source) から、第一弾として、各種超高精度ミラーの大型受注を取得いたしました。

受注金額は約2.3億円であり2022年6月期第4四半期以降に売上を見込んでおります。これは、本年6月に公表しました米国シカゴのアルゴンヌ国立研究所 (Argonne National Laboratory : ANL) にある、大型放射光施設 APS (Advanced Photon Source) からの一括受注を凌ぐ規模であります。なお本受注は、国内の大型放射光施設 SPring-8 および X線自由電子レーザー施設 SACLA をはじめとする、世界各国の施設における先端的研究に対する当社の貢献が高く評価されたことによるものと考えております。

世界各国においてバイオ・メディカル、クリーンエネルギーおよび半導体に関する研究が活発化するのに伴い、放射光や X線自由電子レーザーを用いた高度な分析・解析の必要性がますます増えており、日本では2023年完成予定の東北放射光施設 SLiT-J の新設、その先には SPring-8 のアップグレードも計画されております。また、世界各国の大型施設においても同様に順次アップグレードの計画を控えており、特に中国では、複数施設での第4世代へのアップグレードの他、上海市、深圳市、武漢市においては大型放射光施設あるいは X線自由電子レーザー施設の新設が同時に計画されており、さらなる超高精度ミラーの需要の拡大が見込まれています。

今後当社は世界トップレベルと認められる“Osaka Mirror”のナノ加工・計測技術をさらに向上させ、様々な産業分野において科学技術イノベーションを創出する最先端の研究と常に関わりを持ち続け、広く社会に貢献してまいります。

※【世界 3 大大型放射光施設】

第 3 世代と呼ばれる放射光施設とは、専用の加速器にアンジュレータ主体の挿入光源を多数設置できるように設計された施設のことであり、特に大型放射光施設と呼ばれるものとして、SPring-8（日本）、APS（アメリカ）、ESRF（フランス）の 3 施設があります。

2000 年以降、この世界 3 大大型放射光施設の他に中大型の放射光施設が欧米、アジア、南米の各国で建設され、放射光施設の利用がますます拡大しております。

※【第 4 世代放射光施設】

第 3 世代の放射光と比較して明るさが 100 倍以上となり、各研究分野において新しい発見が得られることが期待されています。世界各国で新設あるいはアップグレードが計画されている放射光施設のほとんどがこの第 4 世代であり、2023 年完成予定の東北放射光施設 SLiT-J もこれに該当します。

以 上